

男女共同参画会議 第11回重点方針専門調査会	資料9
平成29年10月4日	

「女性活躍加速のための重点方針 2017」

I あらゆる分野における女性の活躍

3. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成

a) スポーツ分野における女性活躍の取組の推進

(文部科学省説明資料)

「女性活躍加速のための重点方針2017」該当箇所		通し番号 86																														
大項目	I	I. あらゆる分野における女性の活躍																														
中項目	3	3. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成																														
小項目	(10)	(10) スポーツ分野における女性活躍の取組の推進																														
細項目	—	<p>(10) スポーツ分野における女性活躍の取組の推進</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も見据え、<u>女性アスリートの国際競技力向上を図るため、女性特有の課題に着目した女性アスリートの戦略的強化に資する調査研究や医・科学サポート等の支援プログラムを実施する。また、女性エリートコーチの育成プログラムなど女性競技種目の強化に資するプログラムを実施する。</u></p> <p>また、ジュニア期の女性アスリートが、健康的にスポーツ活動を行えるよう、産婦人科医等を対象とした、女性スポーツ医学の普及啓発プログラムを策定・実施する。</p> <p>さらに、スポーツ関係機関の役職員等の女性比率に関する目標・対策等の方針について、スポーツ関係機関と共同で検討を進めるとともに、女性のスポーツ実施率の向上に向けて、国民及び幅広い関係者に対してメッセージを発信する「女性スポーツキャンペーン」を検討する。</p> <p>加えて、スポーツを通じた女性の社会参画・活躍の推進に向けて、女性の「する」「みる」「ささえる」スポーツへの参画の促進のための環境を整備するため、「スポーツを通じた女性の活躍促進会議」を開催し、具体的な施策の検討を進める。</p>																														
該当施策名 (事業名)		女性アスリートの育成・支援プロジェクト																														
該当施策の背景・目的		「スポーツ基本計画」(平成29年3月24日文部科学省策定)に掲げる目標の一つである「我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収める。」ことを実現するため、女性アスリートの国際競技力向上に向けた支援や、ジュニア層を含む女性アスリートが健康で競技スポーツを継続できる環境を整備する。																														
該当施策の政策手段の分類		<table border="1"> <tr> <td>—</td> <td>法令・制度改正</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>税制改正要望</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>予算</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>30年度要求予算額:</td> <td>262,000 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>29年度予算額:</td> <td>388,000 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28年度歳出予算現額※1:</td> <td>380,000 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28年度決算額:</td> <td>379,400 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用割合:</td> <td>99.8 %</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>機構定員要求</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>その他(具体的に)</td> <td>—</td> </tr> </table>	—	法令・制度改正		—	税制改正要望		○	予算			30年度要求予算額:	262,000 千円		29年度予算額:	388,000 千円		28年度歳出予算現額※1:	380,000 千円		28年度決算額:	379,400 千円		使用割合:	99.8 %	—	機構定員要求		—	その他(具体的に)	—
—	法令・制度改正																															
—	税制改正要望																															
○	予算																															
	30年度要求予算額:	262,000 千円																														
	29年度予算額:	388,000 千円																														
	28年度歳出予算現額※1:	380,000 千円																														
	28年度決算額:	379,400 千円																														
	使用割合:	99.8 %																														
—	機構定員要求																															
—	その他(具体的に)	—																														
該当施策概要		2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における女性アスリートの国際競技力向上のために、女性トップアスリート及び次世代(ジュニア)アスリートに着目して、女性特有の課題の解決に向けた調査研究や、医・科学サポート等を活用した支援プログラムを実施する。また、女性競技種目における戦略的かつ実践的な強化プログラムや、女性特有の視点とアスリートとしての高い技術・経験を兼ね備えた女性エリートコーチを育成するプログラムを実施する。																														

「女性活躍加速のための重点方針2015」での関連施策(事業)	関連施策(事業)の通し番号※2	
	—	
「女性活躍加速のための重点方針2016」での関連施策(事業)	関連施策(事業)の通し番号※3	
	—	
「第4次男女共同参画基本計画」での関係分野	主に関係する分野・大項目	
	分野 —大 項目	6-4 スポーツ分野における男女共同参画の推進
	その他関係する分野・大項目等	
	分野 —大 項目	—
担当府省・担当課	文部科学省	
	スポーツ庁競技スポーツ課	

※1「予算現額」は、歳出予算額、前年度繰越額、予備費使用額及び流用等増減額を加除したもの。

※2「『女性活躍加速のための重点方針2015』での関連施策(事業)の通し番号」は、「『女性活躍加速のための重点方針2015』に係る平成28年度予算内容等について(平成28年1月)」での施策の整理上の番号を示す。

※3「『女性活躍加速のための重点方針2016』での関連施策(事業)の通し番号」は、「『女性活躍加速のための重点方針2016』に基づく平成29年度予算案等について(平成29年2月)」での施策の整理上の番号を示す。

女性アスリートの育成・支援プロジェクト

(前年度予算額：388,000千円)
30年度概算要求額：262,000千円

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における女性アスリートの活躍に向けた支援や、ジュニア層を含む女性アスリートが健康でハイパフォーマンスを継続できる環境を整備するために、女性特有の課題の解決に向けた調査研究や、医・科学サポート等を活用した支援プログラムなどを実施する。また、女性特有の視点とアスリートとしての高い技術・経験を兼ね備えた女性エリートコーチを育成するプログラムを実施する。

女性アスリート戦略的支援プログラム

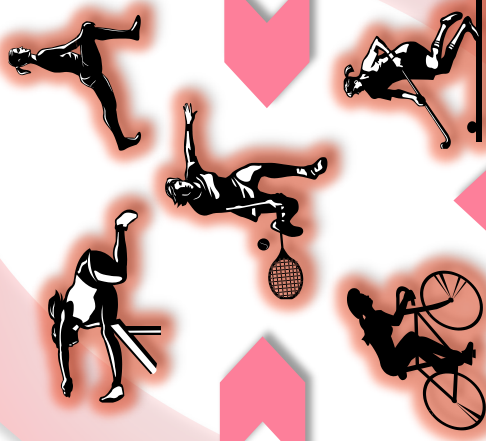
女性アスリート支援プログラム

- ・女性特有の疾患、障害等における医学サポート
- ・成長期における医・科学サポート（ジュニアアスリートや保護者、指導者向け講習会など含む）
- ・妊娠期、産前産後期、子育て期におけるサポート
- ・女性特有の課題と知見について研究者・アスリート・指導者等で共有するカンファレンス

女性エリートコーチ育成プログラム

女性特有の視点とアスリートとしての技術・経験を兼ね備えた女性エリートコーチを育成するため、例えば、引退を予定しているアスリートを対象にしたプレイングコーチも含む、女性エリートコーチを育成するモデルプログラムを策定・実施する。

女性アスリートの国際競技力向上



女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究

女性特有の課題の解決に向けた調査研究を実施し、その成果を女性アスリートや指導者等の競技現場に還元する。特に、「パラアスリート支援」、「女性アスリートの直面する健康課題の解消」に関連する調査研究の充実を図る。

【参考】

30年度概算要求額：10,135,000千円の内数

女性スタッフの配置充実（新規） （競技力向上事業）

競技団体において、女性トップアスリートを身近な立場で支援できる女性スタッフの配置充実を図る。

女性アスリートの強化支援 （競技力向上事業）

女性競技種目において不足している競技大会をモデルプログラムとして実施することなどにより、高水準の競技機会と教育プログラムを提供し、女性アスリートの国際競技力向上を図る。

30年度要求額：20,000千円

女性スポーツ医学の普及啓発 （運動部活動における学校医・産婦人科医との連携に関する実践研究）

成長期の女子生徒が不安なく適切に運動部活動を行えるよう、学校医や産婦人科医等と連携した実践研究を実施し、その成果を普及する。

大項目	I	I. あらゆる分野における女性の活躍																						
中項目	3	3. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成																						
小項目	(10)	(10) スポーツ分野における女性活躍の取組の推進																						
細項目	—	<p>(10) スポーツ分野における女性活躍の取組の推進 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も見据え、女性アスリートの国際競技力向上を図るため、女性特有の課題に着目した女性アスリートの戦略的強化に資する調査研究や医・科学サポート等の支援プログラムを実施する。また、女性エリートコーチの育成プログラムなど女性競技種目の強化に資するプログラムを実施する。</p> <p>また、ジュニア期の女性アスリートが、健康的にスポーツ活動を行えるよう、産婦人科医等を対象とした、女性スポーツ医学の普及啓発プログラムを策定・実施する。</p> <p>さらに、<u>スポーツ関係機関の役職員等の女性比率に関する目標・対策等の方針について、スポーツ関係機関と共同で検討を進めるとともに、女性のスポーツ実施率の向上に向けて、国民及び幅広い関係者に対してメッセージを発信する「女性スポーツキャンペーン」を検討する。</u></p> <p>加えて、スポーツを通じた女性の社会参画・活躍の推進に向けて、女性の「する」「みる」「ささえる」スポーツへの参画の促進のための環境を整備するため、「スポーツを通じた女性の活躍促進会議」を開催し、具体的な施策の検討を進める。</p>																						
該当施策名 (事業名)		女性スポーツ推進事業																						
該当施策の背景・目的		<p>スポーツを通じた女性の活躍推進は世界共通の課題であり、我が国においても女性のスポーツ実施率を向上させることが課題となっている。</p> <p>本事業では、スポーツを通じた女性の活躍促進に向けて、女性のスポーツ実施率の向上のためのキャンペーン等の実施や、女性スポーツ指導者の育成支援、スポーツ団体における女性役員の育成支援を行う。</p>																						
該当施策の政策手段の分類		<table border="1"> <tr> <td>—</td> <td>法令・制度改正</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>税制改正要望</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>予算</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30年度要求予算額: 80,000 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>29年度予算額: - 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28年度歳出予算現額※1: - 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28年度決算額: - 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用割合: - %</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>機構定員要求</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>その他(具体的に)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> </tr> </table>	—	法令・制度改正	—	税制改正要望	○	予算		30年度要求予算額: 80,000 千円		29年度予算額: - 千円		28年度歳出予算現額※1: - 千円		28年度決算額: - 千円		使用割合: - %	—	機構定員要求	—	その他(具体的に)		—
—	法令・制度改正																							
—	税制改正要望																							
○	予算																							
	30年度要求予算額: 80,000 千円																							
	29年度予算額: - 千円																							
	28年度歳出予算現額※1: - 千円																							
	28年度決算額: - 千円																							
	使用割合: - %																							
—	機構定員要求																							
—	その他(具体的に)																							
	—																							

<p>該当施策概要</p>	<p>下記のような取組を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のスポーツ参加促進事業 女性のスポーツ実施率を向上させるため、女性のスポーツ参加促進プログラムの開発・実施、女性スポーツキャンペーン等の実施を通じて、女性が生涯を通じてスポーツに参加しやすい環境を整備する。 ・ スポーツ団体における女性役員の育成事業 女性役員の採用割合が低いスポーツ団体に女性アスリートOBや女性コーチ、一般企業の女性経営者などから女性役員を紹介し、採用させることで、女性役員の採用及び養成システムの構築・改革を目指すスポーツ団体を支援する。 ・ 女性コーチの育成事業 出産等、女性特有のライフイベントにより女性コーチのキャリアが断絶してしまうことを踏まえ、女性スポーツ指導者が活躍しやすくなるよう研修プログラムを開発し普及する。 	
<p>「女性活躍加速のための重点方針2015」での関連施策(事業)</p>	<p>関連施策(事業)の通し番号※2</p> <p style="text-align: center;">-</p>	
<p>「女性活躍加速のための重点方針2016」での関連施策(事業)</p>	<p>関連施策(事業)の通し番号※3</p> <p style="text-align: center;">-</p>	
<p>「第4次男女共同参画基本計画」での関係分野</p>	<p>主に関係する分野・大項目</p>	
	<p>分野 一大項目</p>	<p style="text-align: center;">2-5 その他の分野における女性の参画拡大</p>
	<p>その他関係する分野・大項目等</p>	
<p>分野 一大項目</p>	<p style="text-align: center;">6-4</p>	
<p>担当府省・担当課</p>	<p>文部科学省 スポーツ庁参事官(民間スポーツ担当)</p>	

※1「予算現額」は、歳出予算額、前年度繰越額、予備費使用額及び流用等増減額を加除したものの。

※2「『女性活躍加速のための重点方針2015』での関連施策(事業)の通し番号」は、「『女性活躍加速のための重点方針2015』に係る平成28年度予算内容等について(平成28年1月)」での施策の整理上の番号を示す。

※3「『女性活躍加速のための重点方針2016』での関連施策(事業)の通し番号」は、「『女性活躍加速のための重点方針2016』に基づく平成29年度予算案等について(平成29年2月)」での施策の整理上の番号を示す。

事業概要

スポーツを通じた女性の活躍促進に向けて、女性のスポーツ実施率の向上のためのキャンペーン等の実施や、女性スポーツ指導者の育成支援、スポーツ団体における女性役員の育成支援を行う。

→ スポーツのあらゆるレベル、あらゆる職務、役割における女性の参画を促進

参加促進会議の開催

女性のスポーツ参加促進

女性はライフステージの節目においてスポーツ習慣が途切れやすいと考えられる。その現状と課題を把握するとともに、女性のスポーツ参加を促進するキャンペーンを行う。

キャンペーンの実施

参加促進プログラム開発

調査研究の実施



女性スポーツ指導者の育成

女性スポーツ指導者のチャレンジの促進に向けて、ライフスタイルに沿った多様な柔軟な研修プログラムの構築を強化する。



研修プログラム開発支援

スポーツ団体における女性役員の育成

女性役員の採用及び養成システムの構築・改革を
目指すスポーツ団体を支援する。



研修プログラム開発・ネットワーク構築支援

人材バンクの構築

スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

スポーツを通じた共生社会の実現